

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

より良い金物を自ら考え、自ら普及させていく。住まいの金物の進化と発展に寄与し、住生活を通じて社会に貢献する。

自社商品比率
80%以上

② 中長期の経営戦略

1. 商品戦略

アトムオリジナル商品の再構成と集約化、内装金物全般の裾野広い商品開発。施設建築分野対応強化、バリアフリー・快適性・安全性など備えたソフトクローズ関連商品の展開。

3. 情報システム戦略

受発注・会計管理システムをクラウド型へ更新。営業・業務・現業部門での活用促進。アナログとデジタル融合のDX推進。ATOMダイレクトショップ充実、YouTube・SNS活用強化。

2. 市場戦略

ATOMダイレクトショップの情報発信機能活用。エンドユーザーのニーズ反映。アトムCSタワーを軸に新分野・異分野展開。

4. 環境方針

ISO14001（2006年8月認証取得）に基づく事業活動。2011年4月に環境方針制定。2023年1月SBTイニシアチブ認定取得。温室効果ガス排出削減とSDGsへの取り組み推進。

③ 対処すべき課題

① 市場環境の不透明性

- ・新設住宅着工戸数の回復が停滞し、企業間競争激化による市場環境の悪化
- ・消費性向・所得環境の改善がさらに必要

② 経営基盤の強化

- ・事業環境に左右されない経営基盤確立
- ・既存事業と新規事業の有機的結合による21世紀型ビジネスモデル構築
- ・内装金物分野でのリーディングカンパニーポジション確立

③ 社会的要請への対応

- ・高齢化社会への対応、バリアフリー・快適性・安全性強化
- ・ZEHなどエコ住宅普及への環境配慮商品開発
- ・AIやIoTなど新技術活用による新需要創出

面接で使えるポイント

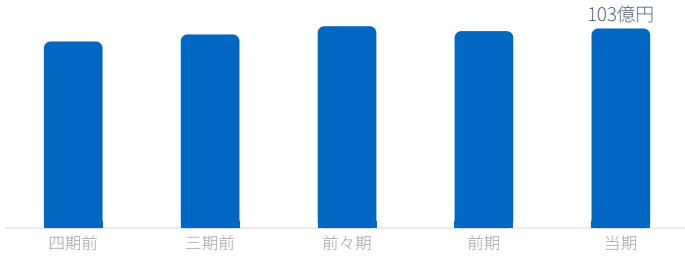
- ・明治36年創業の江戸指物金具職人の教えに基づく、自社商品80%以上という独自の業態形成
- ・内装金物分野でのリーディングカンパニー志向と、ベトナム子会社を通じた海外展開推進
- ・2023年1月SBT認定取得、ISO14001認証による環境配慮と持続可能な社会実現への貢献

アトムリビンテック株式会社

金属製品 | スタンダード（内国株式） | 決算期 6月30日

証券コード 3426

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高 －（未開示）	営業利益率 －（未開示）	財務健康度 68点 / 100点
-----------------	-----------------	---------------------

将来性 曇り / 就活偏差値 51.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
667万円

金属製品内 29位/86社

平均年齢
43.2歳

金属製品内 37位/86社

平均勤続
16.6年

金属製品内 42位/86社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: アトムリビンテック(株)【3426】：決算情報

アトムリビンテック株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

